



さらなる展開に向けて

下水道新技術研究発表会を開催



第14回下水道新技術研究発表会を3月13日に東京で、3月19日に大阪でそれぞれ開催し、両会場合わせて約400名の方々に参加していただきました。東京会場の発表会では、中沢均日本下水道事業団技術開発研修本部先端研究役が「下水道膜処理技術の展望」と題して、本田康秀国土交通省下水道部下水道企画課課長補佐が「下水道の国際協力について」をテーマに、それぞれご講演いただきました。その後、本機構職員による研究成果報告とディスカッションを行いました。

技術委員会で13テーマを審議

平成20年度第3回技術委員会を3月2日に開催し、共同研究13テーマについて審議を行いました。このうち今回終了する「珠洲市バイオメタン発酵に関する性能評価研究」など7テーマが承認され、松井三郎委員長から本機構の石川理事長に答申が行われました。



建設技術審査証明書を交付



平成20年度第3回審査証明委員会を2月3日に開催し、平成20年度の建設技術審査証明事業（下水道技術）に依頼のあった新規16、更新2、変更40の合計58技術について審議を行いました。また、3月6日には、これらのうち審議が終了した54技術に対し審査証明書の交付が行われました。

下水道新技術セミナーを開催



第46回（平成20年度第3回）下水道新技術セミナーを2月13日に東京、2月20日に大阪の2会場で開催し、合わせて約400名の参加者がありました。東京会場のセミナーでは、津野洋京都大学大学院教授が「下水道におけるリン回収技術の動向と展望」と題して、鈴木あや子国土交通省下水道部下水道企画課係長が「下水道汚泥資源利用とリン回収の動向」について、末原宗紀全国農業協同組合連合会肥料海外原料課長が「リン酸肥料の現状と課題」について、それぞれ講演いただきました。その後、民間企業2社が造粒脱リン技術などについて解説しました。

水の安全保障特命委員会・地域フォーラムに参加

自由民主党・水の安全保障特命委員会が主催する第1回地域フォーラムが2月2日に香川県多度津町で開かれ、遠藤武彦委員長をはじめとする「水の安全保障戦略機構」のメンバーとともに、松井正樹国土交通省下水道部長など関係機関からも多くの参加者が集いました。本機構からも宮原研究第一部研究員が再生水利用施設の視察とフォーラムに参加しました。



(社)日本ガス協会と共催で新技術現場研修会を実施



第51回（平成20年度第3回）の新技術現場研修会を2月10日に東京都下水道局砂町水再生センターで開催しました。今回の研修テーマは、「東部スラッジプラントの汚泥炭化と熱供給事業」についてで、地方公共団体や民間企業の技術者・ガス事業者など約60名が参加しました。